

2025

9.24 (水) 12:10
12:50

12:10-12:15

◆発表者紹介

12:15-12:40

◆プレゼン

12:40-12:50

◆質疑応答

オンライン
(Zoom)

登録はこちら▶▶

https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_acFb7V3mQHmTfFyDKnuEA

【技術支援】九州大学 Q-AOS

社会における「真の障害」とは何か？



Key Words



共生社会

パラリンピック

パラアスリート

内田 若希 准教授

人間環境学研究院人間科学部門

1978 年栃木県生まれ。2006 年九州大学大学院人間環境学府にて博士（心理学）取得。2006 年日本学術振興会特別研究員、2007 年福岡県立大学人間社会学部助手、2009 年北九州市立大学基盤教育センター准教授を経て、2012 年九州大学健康科学センター講師に着任しました。その後、2013 年に九州大学大学院人間環境学研究院講師に異動、2020 年より現職として、教育・研究活動に従事しています。

また、2006 年より日本パラリンピック委員会心理スタッフとして、パラアスリートやコーチなどの心理サポートにも従事し、東京 2020 パラリンピック競技大会には、村外サポートスタッフとして帯同しました。

これまでに、パラスポーツをフィールドとし、①中途身体障害者における運動・スポーツを通じた自己変容プロセスに関する研究、②パラアスリートのスポーツキャリアの段階に応じた心理・社会的課題に関する研究などに従事してきました。現在は、パラスポーツが人々の顕在的・潜在的態度の変容に寄与しうるのがメインテーマに、共生社会をめぐる事象について探究しています。

2021 年に開催された東京パラリンピックを契機として、人々の意識や社会の変革が期待されていました。しかし、身体障害者に対する偏見や差別は今もなお残存しています。

共生社会の実現を阻む源泉は、一体どこにあるのでしょうか。その一つとして、社会における「真の障害」について考えていきます。そして、それを打破するための視座を、みなさんと一緒に考える時間にしたいと思います。